



- 左/主郭は人工的に造成された平地
- 中/平成3年の発掘調査で主郭の一部から発見された柱の穴
- 右/案内図や標柱が設置された久慈城跡入り口

令和4年4月8日 岩手県の指定史跡に決定

久慈城跡

中世城郭の山城

久慈城跡は、大川目町に所在し、久慈備前守信実が文明年間(1469～87年)に居城し、久慈氏が代々居を構えたと伝えられています。天正19(1591)年九戸政実と南部信直との戦いで、久慈直治・政則親子は九戸方の武将として参戦しましたが、九戸方は破れて久慈氏の直系は滅亡。久慈城も廃城となりました。現在、久慈城跡は主郭やⅡノ郭、濠跡、馬場跡などが良好な状態で保存されています。中世山城の条件を備えた極めて重要な史跡は、地域住民の保護活動も評価され、県の指定史跡に指定されました。この機会に、久慈城跡をぜひご覧ください。

慈光寺の杉並木

慈光寺の杉並木は、久慈市の指定天然記念物です。参道入口から山門にかけて、直径2mを超す杉の大木74本が約300mにわたって植えられています。

天保年間(1830～43年)と明治13(1880)年に植樹されたものと推定され、直径2mを超す杉並木は、東北地方でも屈指の景観を誇っています。

久慈市文化課
0194-5212700

よみがえる久慈城と大川目の歴史

久慈城に関する発掘出土品や久慈氏系図などを集めて「よみがえる久慈城と大川目の歴史～久慈城跡県指定記念展示会～」を行います。入場料無料です。詳しくはホームページをご確認ください。

日時 11月12日(土)～20日(日)
9時から
場所 大川目市民センター
大川目町まちづくり協議会
0194-55-3250
<https://bizennosato.lsv.jp/>



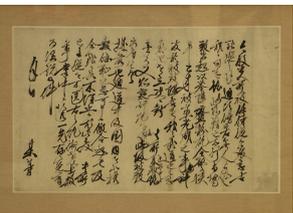
HPは「す」



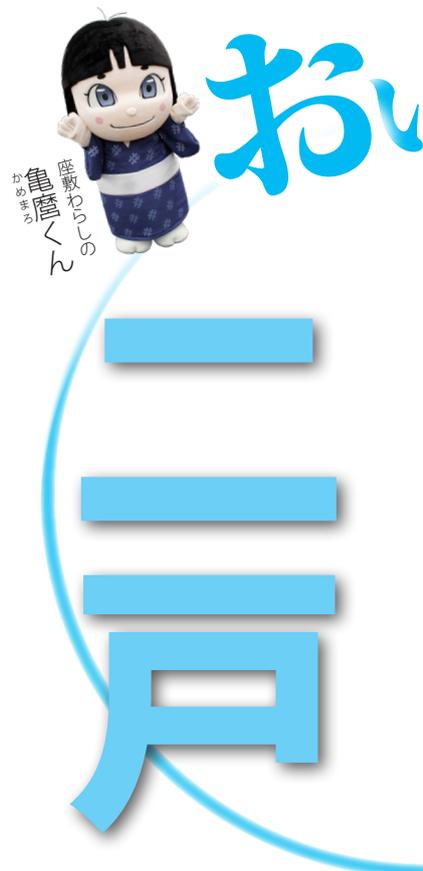
久慈・二戸の

「広報紙面交換」

八戸市・二戸市・久慈市は、古くから密接な関係にある地域です。この事業は、3市でお互いのまちの魅力を広報紙で紹介し合う交流企画です。二戸市と久慈市の話題が掲載される、「広報にのへ」、「広報くじ」は、各市ホームページをご覧ください。



上／相馬大作事件の発端となる、津軽藩に送った「隠居勧告文」
 中／腰につけていた刀
 下／相馬大作がまつられている大作神社（呑香稲荷神社境内）



江戸時代に日本の未来を見据えて行動を起こした二戸の偉人

相馬大作没後200年

もっと知りたい人は

二戸歴史民俗資料館へ！

住所 二戸市福岡字長嶺80-1
 開館時間 9時～16時30分
 休館日 (月)、(祝)の翌日、年末年始(12月29日～1月3日)
 観覧料 一般50円(団体30円)、小～高校生20円(団体10円)
 ※団体は10人以上
 ☎0195-23-9120

武士の鑑、大作の生涯
 二戸市福岡で南部藩士の次男として生まれた下斗米秀之進（のちの相馬大作）。兄を思っただ家出を決意し、江戸で「講武実用流」という武術を学びました。二戸に戻ってからも師の志を受け継いだ塾「兵聖閣」を開き、国や地域を守る人材の育成に努めました。
 そんな中、津軽藩主に隠居と反省を求める隠居勧告文を携え「相馬大作事件」を起こします。作戦は失敗しますが実はそれも想定済み。結果的に誰一人命を落とすことなく、大作の目的は達成されました。
 しかし、幕府に目を付けられ、後に大作は処刑されますが、国の将来を見つめ、多くの人材を育てた彼の生き様は当時の人々に大きな影響を与えました。

二戸市民文士劇は10月8日(土)・9日(日)!

日時 10月8日(土)18時(17時開場)・9日(日)14時(13時開場)
 場所 二戸市民文化会館大ホール
 入場料 ▷前売券大人1,500円、中高生800円▷当日券大人1,900円、中高生800円
 予約受付 二戸市民文化会館、盛岡川徳プレイガイド、はっち、久慈市文化会館(アンバーホール)など
 二戸市民文化会館(館林) ☎0195-23-7111



イベント情報



「北緯40° ナニヤッタ連邦」ロゴマーク
 釣具や農具は、三圏域の誇る産業を、また、三つの星は、北緯40° 台の同緯度において、同じ星空を見る三圏域の共同性や一体感を象徴します。